

IchigoLatte reference 1.0.1

IchigoLatte	<ul style="list-style-type: none">- キッズOS<ul style="list-style-type: none">* ScrLock テレビモニターがうまく映らないときはNTSCモードを変更してみる。 ビデオがオフのときにオンにすることも可能。* Ctrl+Alt+Del OSを再起動する。	ms	<ul style="list-style-type: none">- JavaScriptを実行する。<ul style="list-style-type: none">* 例) 対話モード >ms* 例) 実行モード >ms .- [Latteオブジェクト メンバ関数]<ul style="list-style-type: none">* log(v, ...) 文字を表示する。* led(v) v==0 : LEDをOFF v==1 : LEDをON* btn() ボタンの状態を0もしくは1で返す。* gpin(v) INポートの状態を0もしくは1で返す。vはポート番号。* out(v) OUTポートの状態を変更する。 vのビットフィールドは各ポート番号に対応する。* cls() 画面をクリアする。* lc(x, y) カーソルをx,yに移動する。* sleep(v) vミリ秒間プログラムを停止する。* inkey() 最後に入力されたキーボードのコードを返す。* rnd(v) 0からv未満の整数をランダムに返す。 vは整数であること。* chr(v) 文字コードvから文字を返す。* sin8(v) 角度vのサインを整数 (0~256) で返す。(vはラジアンではない)* tick() システム起動からの経過時間 (ms) を返す。* ana(p) ポートのアナログ値を返す。 p==0 : ボタン p==2 : IN2 p==5-8 : OUT1~4* scr(x, y) 画面上の指定座標に書かれた文字コードを返す。* pwm(p, d) OUTポートpにPWM信号を送る。引数dはパルス幅 (μs) 。* pwmt(t) PWM周期 (μs) を設定する。[デフォルト:20,000]
lash	<ul style="list-style-type: none">- latteシェル<ul style="list-style-type: none">* . 編集可能なファイルI/O。* uart UARTシリアルI/O。* @(no) EEPROMファイルI/O。 no: 0~63 (1Mビットの場合)* 例) >cat . > uart >cat uart > . >cat @0 > . >cat . > @63+ ボタンを押した状態でシステムを起動すると"ms ."が実行される。+ ボタンを押すかCtrl+Dを入力するとモード (コンソール⇔UART) が切り替わる。 (UARTモード時はviコマンドは使用不可)		
echo	<ul style="list-style-type: none">- 引数の内容を出力する。<ul style="list-style-type: none">* 例) >echo Hello World.		
cat	<ul style="list-style-type: none">- ファイルの内容を出力する。<ul style="list-style-type: none">* 'ESC' catを終了する。* 例) >cat . >cat uart		
ls	<ul style="list-style-type: none">- EEPROMの中身を一覧表示する。<ul style="list-style-type: none">* 例) >ls		
vi	<ul style="list-style-type: none">- テキストエディタを起動する。<ul style="list-style-type: none">* 'ESC' 内容を保存してviを終了する。* Ctrl+D 変更を破棄してviを終了する。		